

五月田集落 知事表彰受賞

平成 21 年度鳥取県優良地縁団体

平成 21 年 1 月 29 日(金)知事公邸において平成 21 年度鳥取県優良地縁団体等表彰式が行われ、県内で住民自治活動に貢献した優良 8 団体と個人 3 人が受賞、智頭町から五月田集落が受賞しました。五月田集落代表の大谷豪太郎さんは緊張した様子で平井知事から表彰状を受け取り、受賞後のスピーチで現在の活動の状況、さらにこの受賞を機に今後一層地域づくりに励むことを平井知事に約束しました。



国際貢献の意義をみんなで認識

「智頭米を活かした国際貢献」に取り組むコントリビューション(貢献)の会が昨年産声を上げました。

この取り組みの一環として、町民のみなさんへ国際貢献の意義を理解していただくことをねらいとして、2月2日(火)智頭町保健・医療・福祉総合センター“ほのぼの”で国際貢献講演会が開催されました。

はじめに、会の代表である米本ゆかりさんが、サハラ砂漠の中にあるモーリタニアで自らが国際ボランティアとして携わった体験をもとに、現地の様子を紹介しました。現地の写真を使いながら、気候的にも

厳しい国で、暮らしも貧しいが、でも人々は助け合って生活をしているというお話がとても印象的でした。

この後、講師にお招きした JICA 中国(広島市)国際センター所長の永田邦昭さんから、国際貢献の意義についてのお話がありました。

なぜ国際貢献が必要かということですが、私たちが享受している日本の繁栄も実は戦後の国際社会からの援助によるもので、黒部ダム、新幹線開発、名神高速道などの経済基盤の整備はこの援助があったからこそ成し得たのです。そして、世界各国に資源やエネルギーを依存する日本は、エネルギーの 8 割を輸入に頼り、食糧自給率も 40 パーセントを切り、日本だけでは生きていけないのです。だから援助を必要とする国々に支援することは日本の役割でもあるといったお話で、普段あまり意識しない問題だけにその必要性を改めて考えさせられる講演でした。

雪はなくても温かいもてなしで

1月30日~31日智頭宿一円で 第11回智頭宿雪まつり開催

今年は雪のない雪まつりで、県外からのお客さんは雪の風情を期待されていて少々がっかりという声も聞かれましたが、その反面、出かけやすい天候であったことから、町内外から多くの来場者があり、宿内に設けられた屋台ではいろいろなメニューが用意され賑わっていました。特に、今年の雪まつりには、昨年末に発足した智頭宿、平福宿、大原宿の三つの宿場町が連携する「三宿場協議会」から智頭線を利用して約 100 人がお出でになりました。さらに、鳥取大学からは 25 名の留学生が大学のバスで来場するなど、今年の雪まつりには新しい来場者が賑わいに一役買っていたと、石谷家住宅でのギター演奏を楽しんだり、屋台でそばや焼き鳥などに舌鼓を打っていました。



この春の智頭は面白い 《今春のイベント紹介》

【カフェ&ギャラリー「和楽」 3月14日(日)オープン】

これまでギャラリー風人洞として陶器を中心とした展示をしていましたが、来月 14 日からは、「現代人の和」をコンセプトとした「和楽」がオープンします。裏庭を利用したオープンカフェもあります。

【第 8 回智頭・備前街道雑あらし 3月26日(金)夕方~27日(土)・28日(日)】

河原町通りから上町沿いの民家を活用してお雑さんを飾ります。

【第 39 回諏訪神社柱祭り 4月18日(日)】6年に1回行われる伝統のお祭です。

農家民宿で人生が一変 ~民泊のすすめ~



智頭町森林セラピー推進協議会宿泊検討部会では農家民宿の推進を進めていますが、このたび、「農家民宿って何?」とか「農家民宿を始めてみたい」など農家民宿に興味をお持ちの人を対象にして講演会を開催しました。

講師には、グリーンツーリズムの先進地、大分県安芸院町で 1996 年から農家民宿を始められ、今では年間 800 人が宿泊するほどの人気の宿となり「農漁家民宿おかあさん百選」の一人である中山ミヤ子さんをお迎えしました。

お話は「農家民宿のすすめ」というテーマで、中山さんたちによる民宿経営の実績が認められ、旅館業法の緩和措置を受けるなど「安芸院方式」として全国に定着するようになったこれまでのご苦労話や体験談などでした。

農家民宿を始めるにはハードルが高いように感じられがちですが、中山さんからのお話で、「ありのままの田舎」や「普段食べる料理」とかに都会の人が魅力を感じているから来てくれるのであって、何も難しく考えなくていい、普段どおりの生活でいいとお話に会場の参加者は納得されていました。

そして、最後に、私の人生は普通であれば農家の嫁として一生を終えるはず、でもこんなグリーンツーリズムがもたらしてくれた幸せがあったことは想定外でした。「みなさんもグリーンツーリズムを始めませんか! 幸せになりますよ!」このメッセージで『民泊のまち「ちづ」』への手応えを感じました。

※民泊に関心のある人は、役場企画課(☎75-4112)へお問い合わせください!!

智頭町「森のガイド」第2期生募集!!

森林セラピーに来られたお客様を芦津の森を中心にガイドするセラピーガイド「智頭町森のガイド」の2期生の募集中です。講座は毎月1回程度の開催でガイドとして必要な森の知識やカウンセリング知識、アロマ、ヨガなどを1年通して学びます。森が好きで森林セラピーに関心がある方であれば町内外を問わず、歓迎いたします。興味のある方はぜひ養成講座にご参加ください!!



智頭町「森のガイド」(セラピーガイドとは)

「緑の風が吹く疎開の町・智頭」は豊かな森林資源を有しています。その森林のもつ、免疫力向上効果などが科学的に証明されたものが森林セラピーで、智頭町も4月に森林セラピー基地として認定される予定です。森林セラピー智頭の森を歩かれるお客様に「体」も「心」もくつろいでいただくため、お客様と一緒に森を歩き、森の癒しを導く人が「智頭町森のガイド」です。

募集人員: 30名 参加費: 無料 開催時期: 平成22年4月末~平成23年3月末  
応募資格: 18歳以上の健康な方 認定条件: 全11回のうち必須科目を含む7回以上の講座を受講すること。  
講座内容は変更の可能性があります。

養成コース: 30名新規募集

講座	内容	講座	内容
1. セラピーとは	森林セラピーの総論	7. カウンセリング	カウンセリング入門
2. 芦津の歴史文化	歴史、文化	8. 森林作業	森林がもたらす健康効果
3. 芦津の樹木	植物、樹木	9. 智頭町の取組み	智頭町の資源を活かした町づくり
4. アロマセラピー	アロマセラピー	10. 実践ガイド講座	セラピーロードでガイド体験
5. リラクゼーション	呼吸法等(ヨガ)	11. 意見交換	1期生との意見交換
6. ガイド講座	ガイドとしての心構え		

※開催日、開催時間については受講生に決まりしだい連絡します。  
募集申込締切: 平成22年3月26日(金)まで(定員になり次第締め切ります)

問合せ先 役場建設農林課 長谷川 ☎75-4113